

## 資料目録Ⅱ

# 吉田九洲穂旧蔵京都人文学園関係資料目録

須永哲思\*

### 【凡例】

- ・本目録は、吉田九洲穂氏が自宅で所蔵していた資料群のうち、京都人文学園に関係する資料を整理・目録化したものである。
- ・吉田氏自宅に保管されていた資料は、吉田氏が平凡社編集部勤めていた際に手がけた社会科用副教材『綴方風土記』・『世界の子ども』に関する一次資料を中心に、平凡社での労働組合関係資料や京都人文学園関係資料などが含まれていた。ご自宅を取り壊す際に、吉田匠氏のご厚意で、これらの資料群を須永が譲り受け、現在整理・デジタル化・目録化を進めている。資料は段ボール（30数箱）に入った状態で保管されていたが、当初から年代・内容は雑多な状態で取められていたため、全ての資料を年代・内容に従って仕分け・再分類を行い、新たに資料秩序を作ることにした。こうして、京都人文学園関係の資料のみを選び分け、年代順に並べて資料番号を付したものが、本目録である。
- ・資料は1点ずつ中性紙封筒に収め、目録に対応する資料Noを封筒表面に記載した。
- ・資料Noは、基本的に簿冊単位で付し、簿冊の中に所収されている各資料に1点ずつ枝番号を付した。資料が入れられている封筒資料についても、資料Noと枝番号を付す際は同様とした。
- ・資料名、作成年月日、作成者／発行者、宛先とも明確な表記が資料に記載されている場合はそれを記載し、されてない場合は亀甲括弧で目録作成者が記載した。
- ・備考欄には資料に関する情報を目録作成者が記載した。

---

\*すなが さとし 京都大学人文科学研究所

資料目録Ⅱ：吉田九洲穂旧蔵京都人文学園関係資料目録

資料No	タイトル	作成年月日	作成者／発行者	宛先	備考
1	「水曜日」第4～40号	1947年12月17日- 1948年12月18日			第45、7-37、39-40号まで35点を所収（京都勤労者学園に所蔵のないNo84を含む）。
2	「金曜日」第3号～21号・号外	1948年12月31日- 1950年6月20日			第3-21号、1949年7月号、復刊No1（1949年12月8日）、1950年新年特集号（No表記なし）、No1（1950年3月）、号外（1950年6月20日）の24点を所収。
3	「生徒証」	1946年6月1日	中村敦子		講義ノートか。
4	「課外講座第1回 現代アメリカ文学 清水光氏」	1946年6月8日			1946年6月10日～7月8日の講義ノートのコピー。
5	「一般教養（新村猛先生）(6.10ノ趣意書二依り)」	1946年6月10日			
6	「日記」	1946年6月27日- 1946年9月16日	吉田九洲穂		
7	「学園新報」No1	1946年11月18日			
8	「第二回京都廿世紀講座案内」	1946年12月7日			
9	「旧人文学園 校舎校地関係」	1947年-1957年			2部。 封筒に以下の資料7点を同封。
9-1	「売渡証書」		水野勝蔵		
9-2	「委任状」	1947年	水野勝蔵		
9-3	「所有者住所変更 登記申請書 副本」	1947年			
9-4	「不動産売買契約証書」	1947年9月11日	水野勝蔵	京都人文学園 新村猛	
9-5	「所有権移転請求権保全仮登記申請書 副本」	1947年10月9日	水野勝蔵（登記義務者）	新村猛（登記権利者）	
9-6	「証明願」	1957年10月7日	鈴木秀吉	京都市北区市長 西村文雄	
9-7	「預り証」	1957年12月	水野勝蔵	京都労働学校	
10	「総合考査問題」	1947年4月21日	京都人文学園		
11	「授業料」	1947年6月10日	生徒委員		授業料納入催促のための張り紙か。
12	「全京都学生協議会規約」	1947年6月21日か			手書きの規約案か。
13	「Job」	1947年7月21日	〔吉田九洲穂〕		手書きの資料断簡。
14	「われわれは校舎について如何に努力して来たか」	1947年7月	京都人文学園校舎問題委員会		手書き。
15	絵ハガキ	1947年か	中村敦子	Mila Zavara (チエロスロヴァキア)	エスベラント語でメッセージが書かれた絵ハガキ。
16	絵ハガキ	1947年か	吉田九洲穂	Hugh C. Martin (スコットランド)	エスベラント語でメッセージが書かれた絵ハガキ。
17	資料断簡	1947年			学園新聞の下書きか。
18	「住所録 京都人文学園」	1947年8月			
19	「学課ニ関スル調査」	1947年11月25日	調査部		書き込みあり。
20	「静謐」原谷満穂集」	1948年12月14日	京都人文学園内川野邦三編集発行		コピー。
21	「京都人文学園3年クラス “学園を出て”」	1948年12月15日			

吉田九洲穂旧蔵京都人文学園関係資料目録（須永）

22	「はばむものにはこたえん！人文学園の かんたんな年表2」	1949年2月3日	学園史委員 谷口・杉本・高井・ 芹沢・西口・吉田		コピー。
23	「生徒諸君！」	1949年3月14日	生徒委員		生徒委員作成の貼紙か。
24	「證明書」	1949年3月14日	吉田九洲穂		吉田九洲穂卒業証明書コピー。
25-1	「履歴書」	1949年3月25日	吉田九洲穂		
25-2	名刺「櫻方風土記」編集部 吉田九洲穂 平丸社編集局		吉田九洲穂		
26-1	写真用封筒	1949年4月3日			「PACONI 吉田九洲穂 吉田敦子」。
26-2	写真	1949年4月3日			結婚式の際の写真。
26-3	「GEEDZIGA SOLENO（結婚式）」	1949年4月3日			結婚式の式次第（エスベラント）。
26-4	「S-ro K Yoshida F-ino A Nakamura」	1949年4月3日			結婚式の際に配られたカード（エスベラント）か。
27	「京都人文学園同窓会名簿」	未詳 〔1949年以後か〕			吉田の所属が日本評論社なので作成は1949年か。コピー。
28	「京都人文学園入学案内1950」	1950年			コピー。
29	「人文学園新聞」第1号 （京都人文学園自治会機関誌）	1950年6月26日			コピー。
30-1	「京都人文学園入学案内（夜間部） 1951年秋期生徒（本科聴講科）募集」	1951年			2部。
30-2	「働くものに学問を！1951 京都人文学園秋期生徒募集（夜間部）」	1951年			2部。
31	「生徒募集要項・入学願書」	1951年8月1日			コピー。
32	「KAMARADO」No1	1952年3月17日			2部。
33	「京都人文学園後期案内」	1955年9月			2部。
34	「研究報告書 戦後十年の小説について」	1956年	京都人文学園文学専攻課		コピー。
35	「アッピール」	1956年2月	人文学園同窓会準備委員会		コピー。
36	「その後の学園の問題 学園廃止に至るまで」	1957年5月8日	京都人文学園同窓会執行委員会		コピー。
37	「京都勤労者学園」第1号	1957年6月	京都勤労者学園調査出版部編集発行 ky〔吉田九洲穂〕		コピー。
38	「京都人文学園略年表（第1次）」	1969年6月17日			コピー。
39	「名簿Ⅰ 第1回生（証）」	1969年6月17日か			「名簿Ⅱ」は欠。
40	「名簿Ⅲ 講師」	1969年6月17日か			2部、うち1部には住所の手書き書込あり。
41	「人文学園第一回生（住所録）」	1969年6月17日か			手書き、断簡あり。
42	「アンケート 人文学園とあなた」	1969年9月14日			
43	「青春の遺標」〔第二章 学園創設〕	1976年か			吉田九洲穂による校正原稿、1976年のノート挟み込みのものと同じ内容。コピー。
44	「Humanisma Lernejo — Historio — 〔京都人文学園 — 歴史 — Ⅰ〕」	1976年5月1日	吉田九洲穂		
45	「大学設立に関する理想案」	未詳 〔1947-48年か〕			湯浅八郎が同志社総長（1947-1950）、日高第四郎が文部小学校教育局長（1946-1949）の肩書きなので、1947-48年頃の作成か。
46	「京都工専時代」	未詳			吉田九洲穂の自伝的資料か。

47	「世界觀の形成と崩壊」	未詳	吉田九洲總		吉田九洲總の自伝的資料。コピー。
48	「(戦中)教育の使命 吾、これを固執といふ」	未詳			
49	糸村光枝「私たちは如何に進むか」、資料断簡	未詳			
50	「入権擁護同盟規約案」	未詳			コピー。
51	「京都人文学園同窓会規約草案」	未詳			コピー。
52	「学校法人京都人文学園寄付行為案」	未詳			コピー。
53	「住所録」	未詳			コピー。
54	「関西文理学院 英文解釈教材」	未詳			
55	「展望」[(つづき)]	未詳			久野吹への聞き取り記録の一部か。
56	作成年未詳「京都人文学園」史の資料 京都の佐々木時雄宅に所蔵の分」	未詳			コピー。
57	「金曜会会員名簿」	未詳			6部。
58	「人文学園第5回演奏会」	未詳			